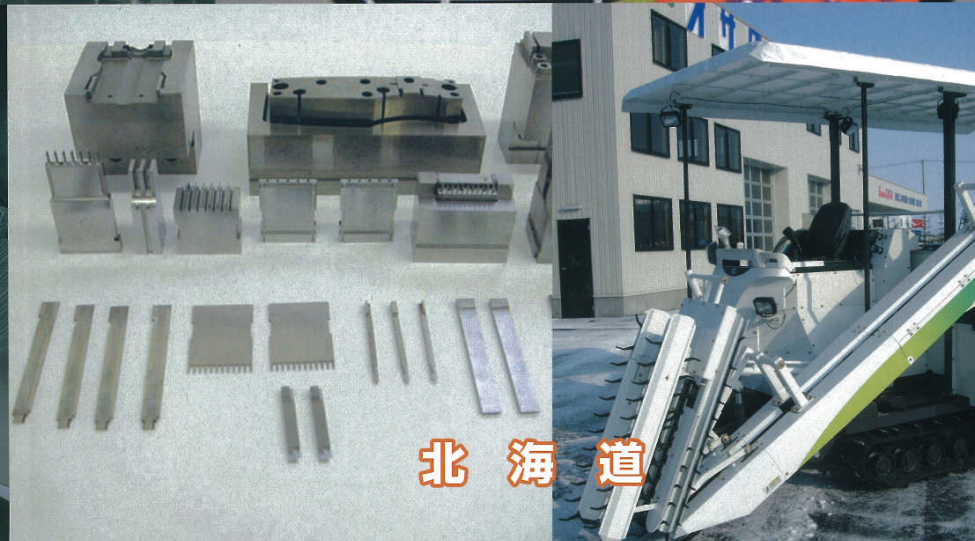


北の大地の未来を担う ものづくり企業

(北海道新工法・新技術紹介ガイドブック)



機械加工

切削業界のコンビニエンスストア

北新金属工業 株式会社

恵庭市北柏木町3丁目58番 TEL.(0123) 32-5610 / FAX(0123) 32-5612

これがポイント 自動車部品などの切削加工品の大量生産

- ★高生産力と高品質力
- ★選別対応製品にあわせたオリジナルの検査ライン

■高生産力

北新金属工業は、自動車部品などの切削加工品の大量生産に対応。5秒で1個の製品を完成させる高性能で、生産力の高い六軸自動旋盤(写真①)を25台保有している。大半は中古品であるが、自社でオーバーホールできる高い技術を持ち合わせているのも同社の強みである。棒材からの完成品加工をメインに24時間365日生産稼働している。「どんな材質でも、どんな形状でもいつでもご相談下さい」と、まさに切削業界のコンビニエンスストアである。



①六軸自動旋盤



②クラック検査



③カメラ測定、レーザー側長、ネジ検査

■高品質力と低コスト

正確な寸法測定を行うため、3次元測定顕微鏡、粗さ計測機など様々な測定機器を取り揃え、選別対応製品にあった各測定機器を組み合わせ、独自の検査ラインを組んでいる。自動選別機、自動外観機の多様化によりコストの低減、生産稼働率の向上、品質における確実性を高め、ユーザーに安くて良い製品とともに、安心を届けている。

■選別対応製品にあわせたオリジナルの検査ライン

材料に潜在するクラック(割れ・ヒビ)の検査をするクラック検査機は、X線検査に比べ検査スピードも速く、月に50万個対応できる。

【選別対応製品】	【設備機能】	【詳細】
ナット	1) クラック検査 (写真②) 2) カメラ測定 (写真③) 3) レーザー側長 (写真③) 4) ネジ検査 (写真③)	製品をハンマーで叩き、音の周波数で材料欠陥を検出 キーエンス製のカメラにて、傷、寸法を検査 レーザーを製品にあてて、内径溝加工部の異物を検出 ネジの長さを側長

企業紹介

昭和37年、大阪にて新庄金属製作所を設立し、松下電器と取引開始。昭和45年、松下電器の工場が千歳市に設立されると同時に、切削部品の供給拠点として、昭和47年恵庭市にグループ会社、北新金属工業を設立。当初は自動車水温ユニットの黄銅ケースを主体に生産、販売を展開。品質納期、コスト力をつけるため、ドイツ製インデックス社の全自動六軸旋盤を導入し、新しい分野への進出。自動車部品を主体に、ガス器具業界、各種バルブ継手など、切削加工業界のリーダーを目指している。半導体部品、自動車部品の組立加工も行い品質管理、生産管理技術力を活かし業績を伸ばしている。

企業データ

代 表 : 代表取締役社長 益山 利二
設 立 : 昭和47年5月
資 本 金 : 2,000万円
従 業 員 数 : 43名
主要取引先 : パナソニックエレクトロニクス
デバイス日東(株) / パナソニック電工(株)
東産産業(株) / 日本特殊陶業(株) ほか
U R L : <http://www.shinjo-hokushin.jp/>
問い合わせ先
担 当 : 工場長 本田 正廣
T E L : (0123) 32-5610
M A I L : hokushinshinsyo@yahoo.co.jp

